

**志太地域校務支援共同化事業  
アンケート調査報告書**

平成 28 年 4 月

## 目次

1.調査概要 .....	3
1-1.調査実施概要.....	5
1-2.調査結果の概要.....	6
2.システム利用者の調査結果.....	7
2-1.システム利用者の回答者属性.....	9
2-2.『デジタル校務』の満足度／利用前後の処理時間.....	12
2-3.今後の校務処理時間について.....	19
3.学校管理者の調査結果.....	21
3-1.学校管理者の回答者属性.....	23
3-2.『デジタル校務』利用状況.....	25
3-2.今後の校務処理時間について.....	27

**【注意事項】**

- ・ グラフ中の（n = ）はそのグラフの有効回答数を示しています。グラフは無回答を除いた割合（%）で示しているため、グラフによって有効回答数が異なります。
- ・ 複数回答の質問では、グラフ中の割合（%）を合計すると 100.0%を超えることがあります。また、単一回答の場合でも四捨五入の関係で 100.0%にならないことがあります。

## 1.調査概要



## 1-1.調査実施概要

### (1)調査の目的

静岡県志太地域（島田市・藤枝市・焼津市）では教員の校務支援事務の負担軽減に向けて、校務支援システム『デジタル校務』の導入を行っている。導入の目的であった、「教員の校務支援事務の負担軽減」の効果を確認するとともに、システムの保守支援業務の体制にかかる評価を行うため、3市の小学校、中学校のシステム利用者又は学校管理者を対象としたアンケート調査を実施した。この調査結果により導入の効果を把握し、今後のシステム改善のための資料とする

### (2)調査対象および回収結果

回収結果はつぎのとおりとなる

<システム利用者>

	配布	回収	回収率
島田市	98	98	100.0%
藤枝市	135	129	95.6%
焼津市	110	108	98.2%
合計	343	335	97.7%

<学校管理者>

	配布	回収	回収率
島田市	25	25	100.0%
藤枝市	27	27	100.0%
焼津市	22	22	100.0%
合計	74	74	100.0%

### (3)調査方法

学校ごとに調査票を配布し、自記式で回答

### (4)調査実施時期

平成28年2月23日～3月23日

## 1-2.調査結果の概要

---

### (1)回答者と業務の概況

- ・ システム利用者が勤務している学校は、全体では「小学校」が 63.6%、 中学校」が 36.4%となっている。
- ・ システム利用者のパソコンの得意、不得意についてみると、全体では「あまり得意でない」+「不得意」は 46.1%であり、4 割以上が“不得意”と回答している。
- ・ 学校管理者に 26 年度以前の、校務システムや類似ソフト等の利用の有無をきいたところ、「一部の機能についてソフトを利用」が 72.6%と最も割合が高い。「利用していない」は 2 割以下となっている。

### (2)システム利用者の調査結果

- ・ 『デジタル校務』利用に関する満足度を校務内容別にみると、『b. 気づきの入力・情報共有』では「利用なし」が 42.5%と最も高い。満足度（「満足」+「やや満足」）でみると、『a. 出席簿 月末報告の処理』で 84.2%で最も割合が高くなっている。対して「やや不満」+「不満」の割合が高いものは『c. テスト結果などの入力や評価の入力等』が 21.9%と他の校務内容に比べ高くなっている。また、システム全体の総合満足度では、76.6%と満足度は高い。
- ・ システムの利用前と利用後の平均時間の差を算出し、比較したところ、『a.出席簿 月末報告の処理』では 15.9 分、『b.気づきの入力・情報共有』では-12.2 分、『c.テスト結果等の入力や評価の入力等』では 10.9 分、『d. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力』では 18.4 分、『e. 成績通知表の作成・出力』では 22.6 分、『f. 指導要録の作成・出力』では 3.7 時間の時間短縮となった。
- ・ 調査書を作成した、と回答した 41 名に対し、その作成方法をきいたところ、『デジタル校務』を利用」が 61.0%と最も高かった。その満足度をきいたところ、「やや不満」+「不満」で 64.0%と 6 割以上が“不満”と感じている。

### (3)学校管理者の調査結果

- ・ 『デジタル校務』の校務内容別利用状況についての結果をみると、『b. 出席簿 月末報告の処理』、『e. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力』、『g. 指導要録の作成・出力』で「全教員が利用」が 7 割を超えている。一方、『f. 調査書の作成・出力』では「利用なし」が 4 割以上となっており、他の校務内容に比べ高くなっている。
- ・ 『デジタル校務』を利用することによる今後の校務処理時間についてきいたところ、「減る」が 58.1%と最も高く、「少しは減る」と合わせると 97.3%となっている。

## 2.システム利用者の調査結果

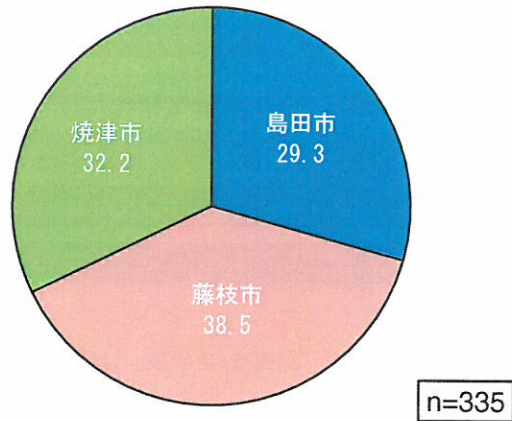




## 2-1. システム利用者の回答者属性

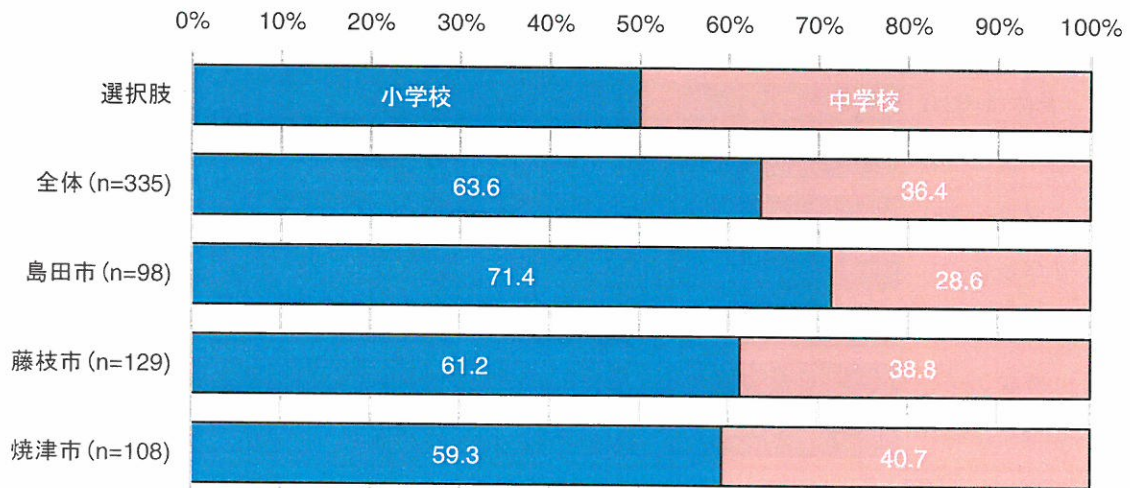
### (1) 勤務地

システム利用者の勤務地は、「藤枝市」の38.5%が最も高いが、いずれの地域も3割前後となっている。



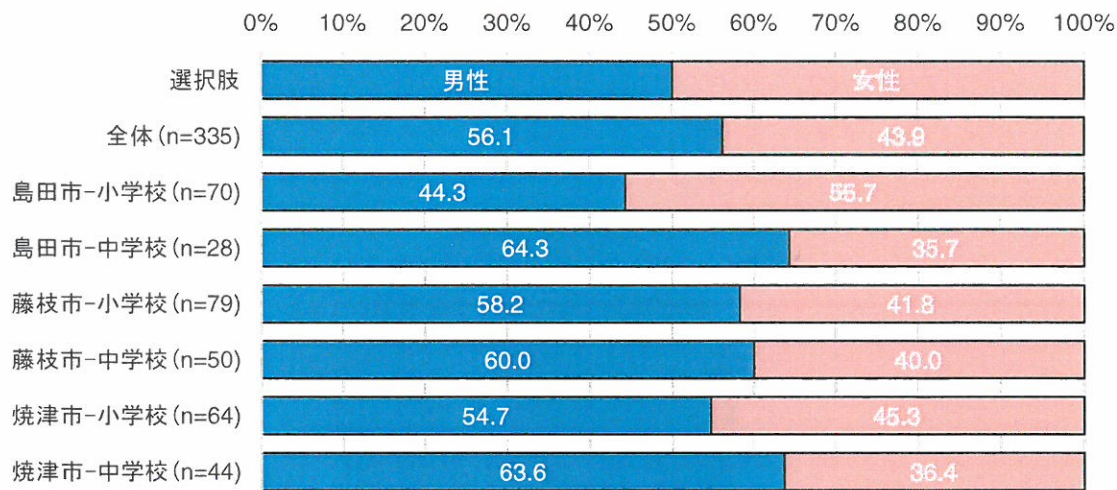
### (2) 学校種別

システム利用者が勤務している学校は、全体では「小学校」が63.6%、「中学校」が36.4%となっている。



### (3) 性別

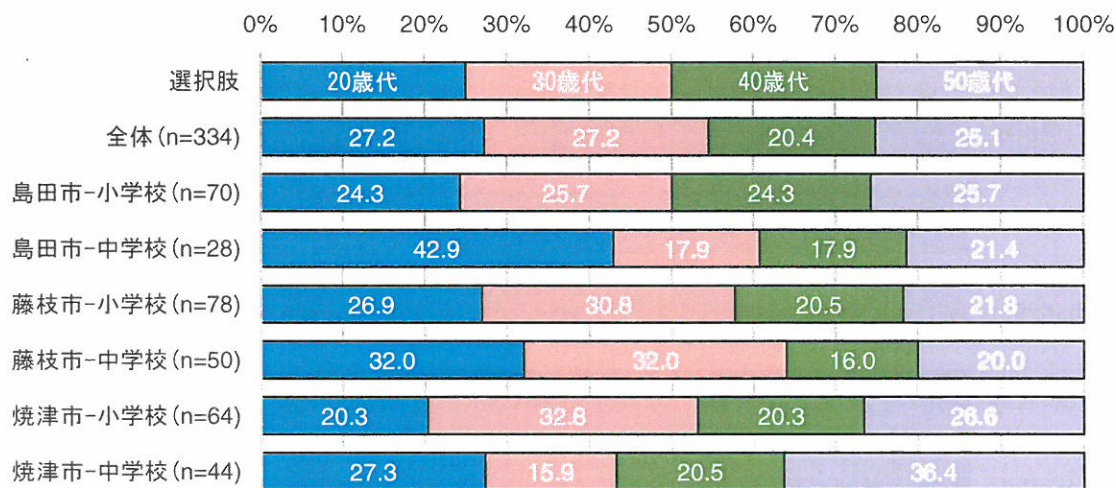
システム利用者の性別をみると、全体では「男性」が 56.1%と女性に比べ多い。勤務地・学校種別にみると島田市の小学校以外では男性の割合が過半数を超えている。



※「島田市-中学校」は回答者が 30 未満であるため注意が必要である。

### (4) 年齢

システム利用者の性別をみると、全体では「20 歳代」、「30 歳代」がいずれも 27.2%であり、30 代までで過半数となっている。勤務地・学校種別では焼津市の中学校では 40 代以上が過半数となり、他の学校に比べ多くなっている。

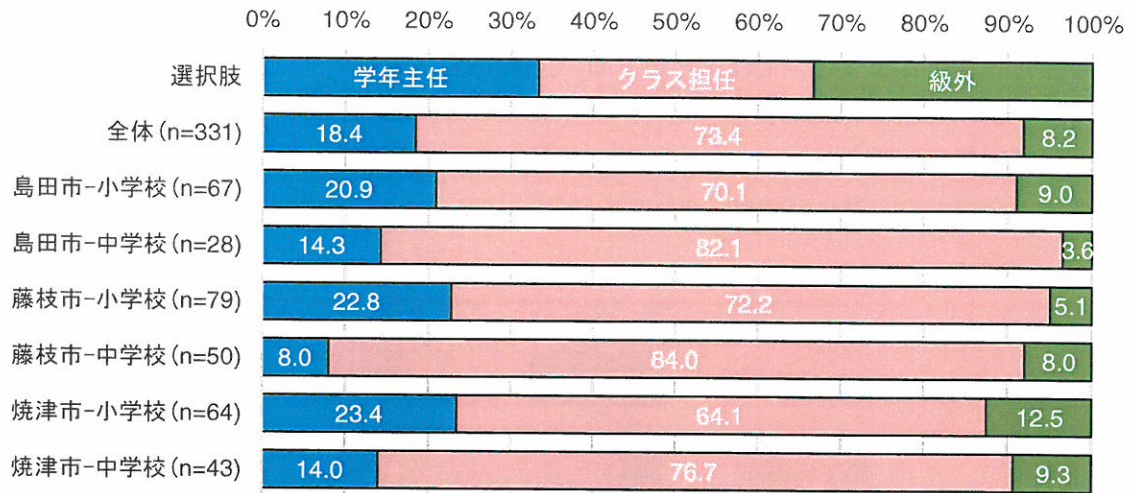


※「島田市-中学校」は回答者が 30 未満であるため注意が必要である。



## (5) 担任の種別

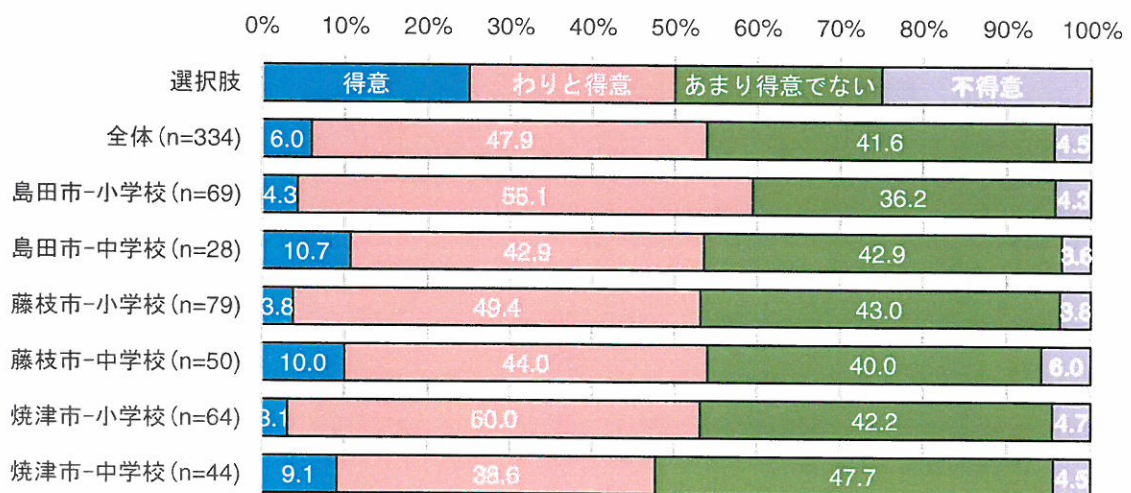
システム利用者の担任の種類をみると、全体では「クラス担任」が7割を超え最も高い。勤務地・学校種別では焼津市の小学校で「学年主任」と「級外」の割合が他の学校に比べ高い。



※「島田市-中学校」は回答者が30未満であるため注意が必要である。

## (6) パソコンの得意／不得意

システム利用者のパソコンの得意、不得意についてみると、全体では「あまり得意でない」+「不得意」は46.1%であり、4割以上が“不得意”と回答している。



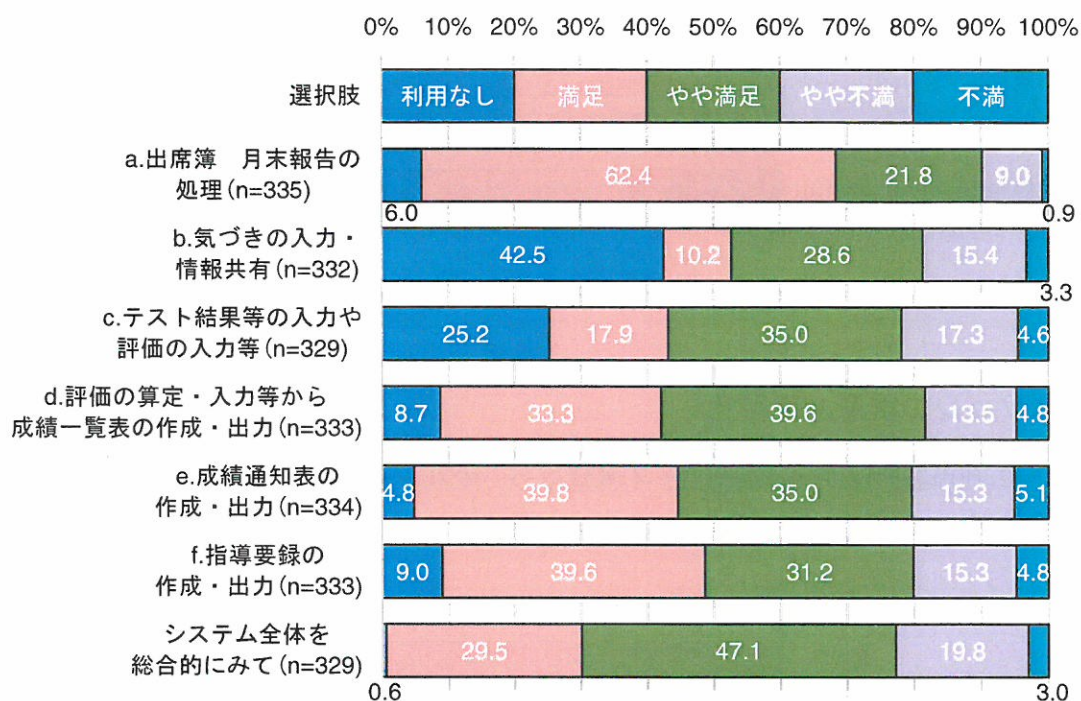
※「島田市-中学校」は回答者が30未満であるため注意が必要である。

## 2-2. 『デジタル校務』の満足度／利用前後の処理時間

### (1) 校務内容別満足度（一覧）

システム利用者の『デジタル校務』利用に関する満足度を校務内容別にみると、b. 気づきの入力・情報共有では「利用なし」が42.5%と最も高い。満足度（「満足」+「やや満足」）でみると、a. 出席簿 月末報告の処理で84.2%で最も割合が高くなっている。対して「やや不満」+「不満」の割合が高いものはc. テスト結果などの入力や評価の入力等が21.9%と他の校務内容に比べ高くなっている。

システム全体の総合満足度では、76.6%と満足度は高いといえよう。



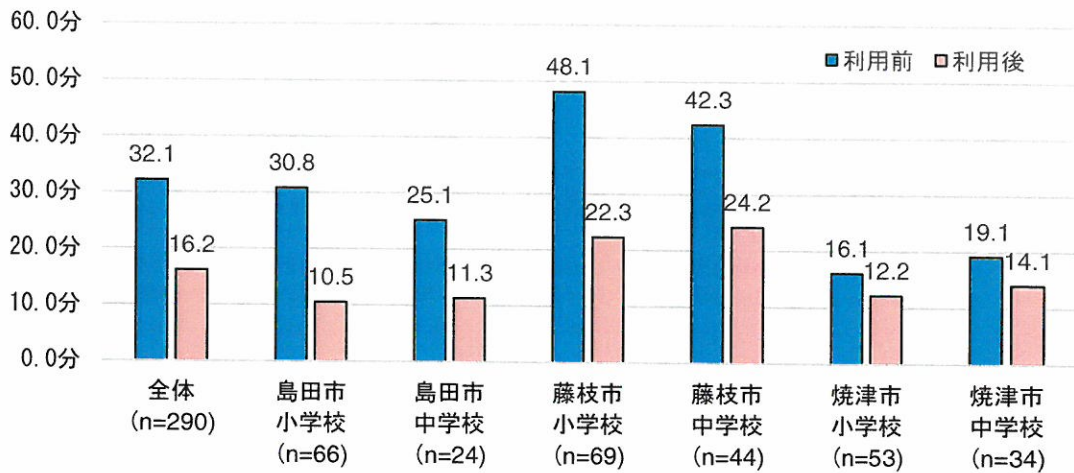
※「島田市-中学校」は回答者が30未満であるため注意が必要である。

## (2) システム利用前後の処理時間

システム利用前と利用後の処理時間の平均を算出し、比較した。

### a. 出席簿 月末報告の処理

全体では利用前 32.1 分、利用後 16.2 分と 15.9 分の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、藤枝市の小学校で 25.8 分であった。

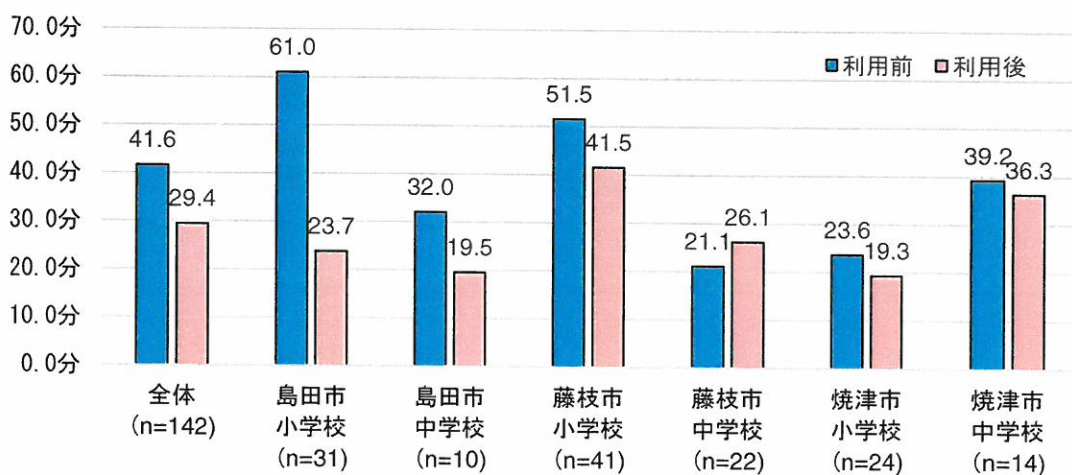


※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。

### b. 気づきの入力・情報共有

全体では利用前 41.6 分、利用後 29.4 分と 12.2 分の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、島田市の小学校で 37.3 分であった。



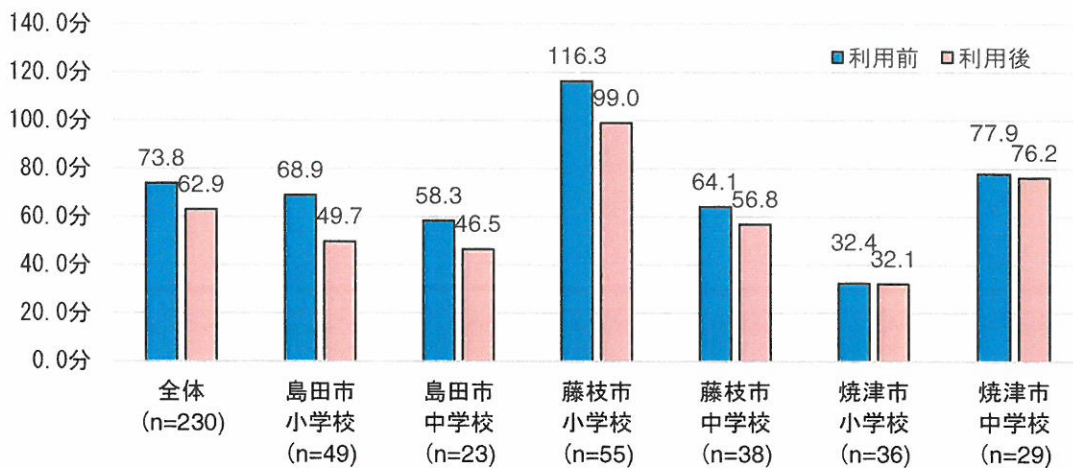
※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。



c. テスト結果等の入力や評価の入力等

全体では利用前 73.8 分、利用後 62.9 分と 10.9 分の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、島田市の小学校で 19.2 分であった。

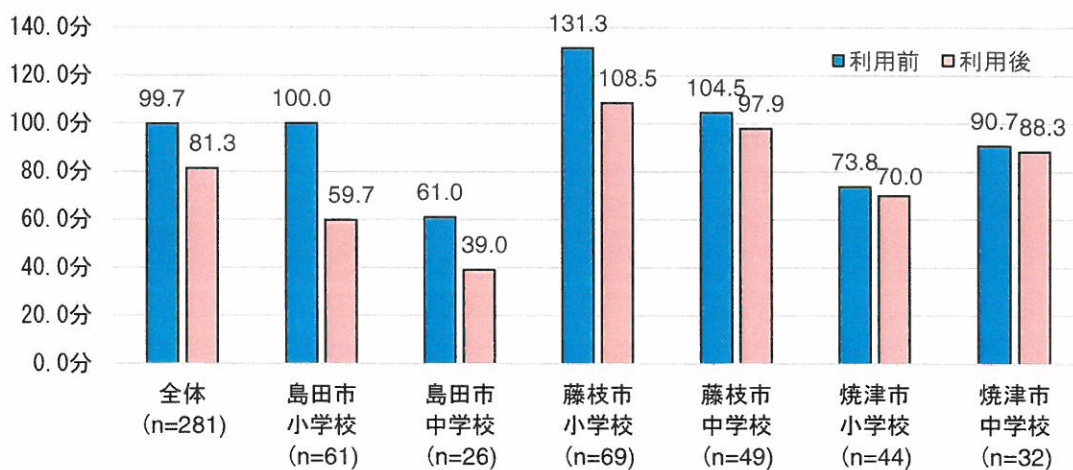


※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。

d. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力

全体では利用前 99.7 分、利用後 81.3 分と 18.4 分の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、島田市の小学校で 40.3 分であった。

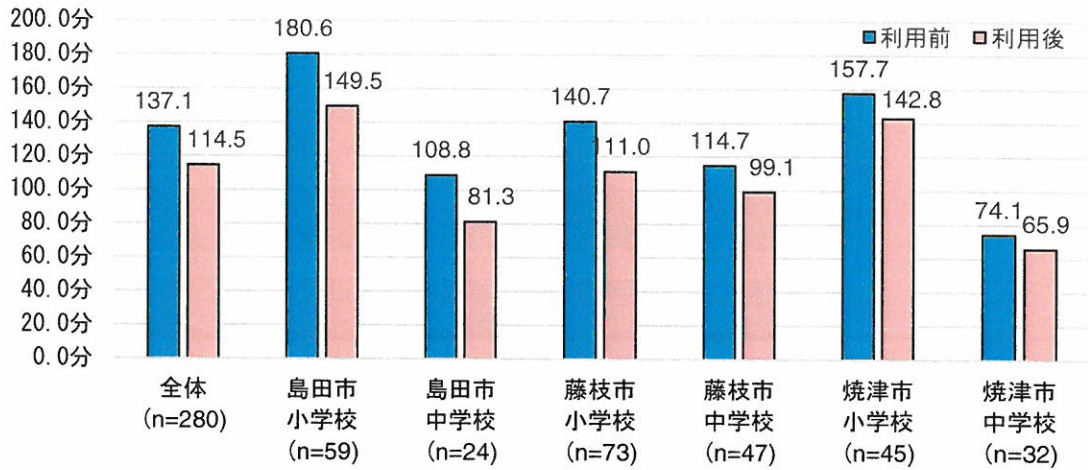


※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。

e. 成績通知表の作成・出力

全体では利用前 137.1 分、利用後 114.5 分と 22.6 分の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、島田市の小学校で 31.1 分であった。

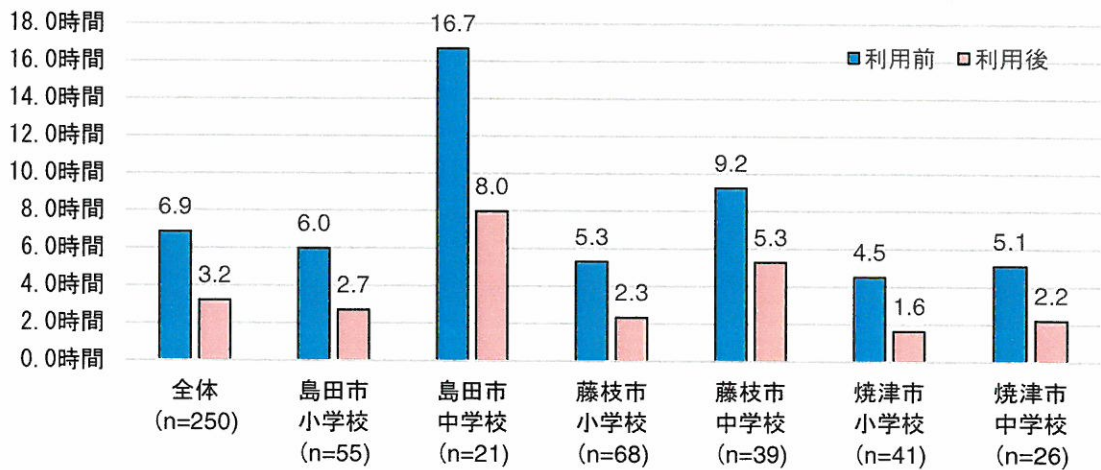


※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。

f. 指導要録の作成・出力

全体では利用前 6.9 時間、利用後 3.2 時間と 3.7 時間の時間短縮となった。最も時間短縮となったのは、島田市の中学校で 8.7 時間であった。



※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

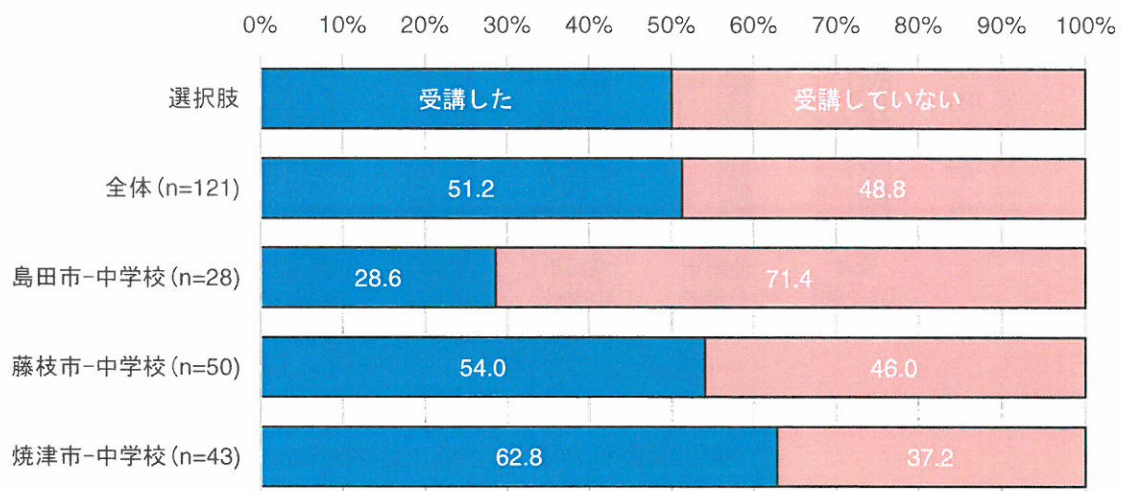
※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。



### (3) 調査書の作成（中学校のみ）

#### ① 調査書の研修受講の有無

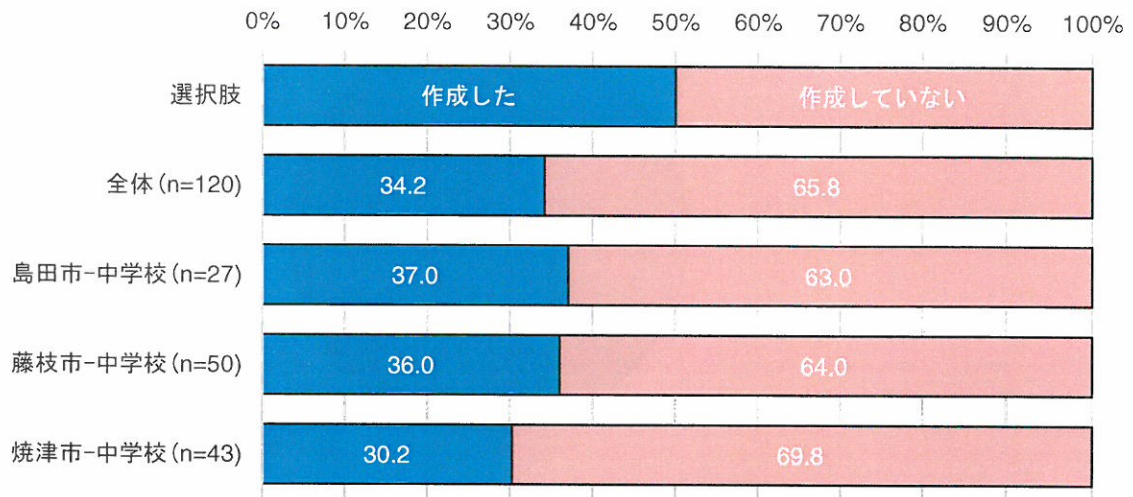
対象者のうち中学校に勤務している利用者の、調査書の研修受講の有無についてみると、全体では「受講した」が 51.2%と「受講していない」を上回っている。勤務地別では、島田市の中学校で「受講していない」が 71.4%と多くなっている。



※「島田市-中学校」は回答者が 30 未満であるため注意が必要である。

## ②調査書作成の有無

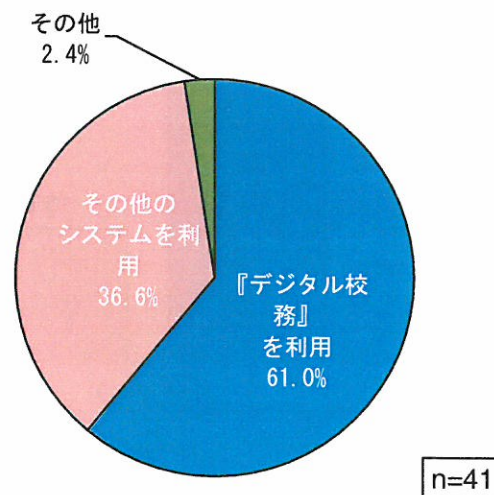
調査書作成の有無について、全体の結果をみると、「作成していない」が65.8%と「作成した」を上回っている。勤務地別に見ても全体と同様の傾向となっている。



※「島田市-中学校」は回答者が30未満であるため注意が必要である。

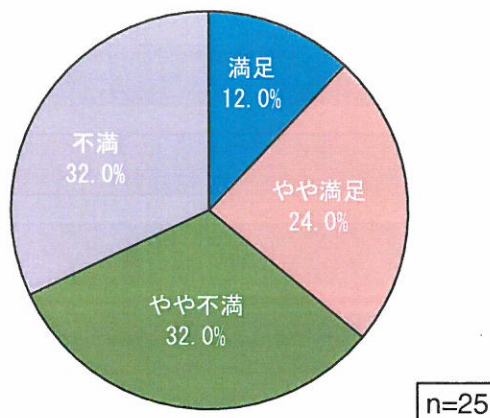
## ③調査書作成の方法（調査書を「作成した」回答者のみ）

調査書を作成した、と回答した41名に対し、その作成方法をきいたところ、「『デジタル校務』を利用」が61.0%と最も高く、6割以上が利用している。



#### ④調査書作成時『デジタル校務』を利用した満足度

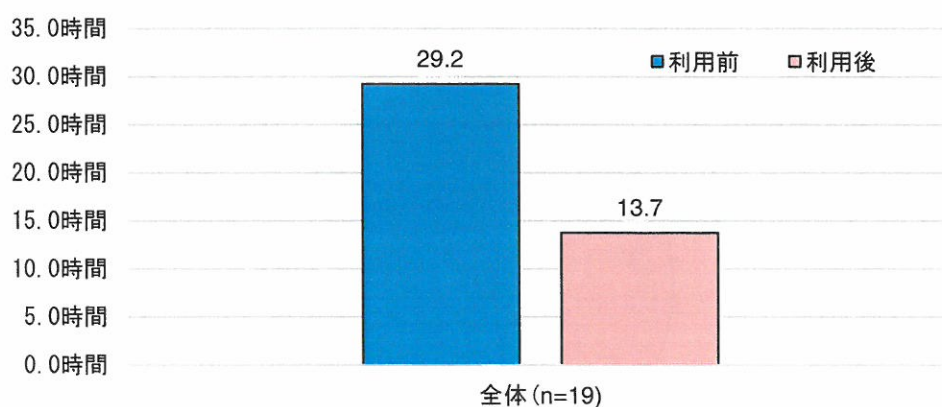
調査書作成時に『デジタル校務』を利用した 25 名に対し、その満足度をきいたところ、「やや不満」+「不満」で 64.0%と 6 割以上が“不満”と感じている。



※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

#### ⑤調査書作成時『デジタル校務』利用前後の処理時間

調査書作成時に『デジタル校務』を利用する前と利用した後で、それぞれの処理時間について聞いたところ、利用前 29.2 時間に対し利用後 13.7 時間と 15.5 時間の時間短縮となっている。



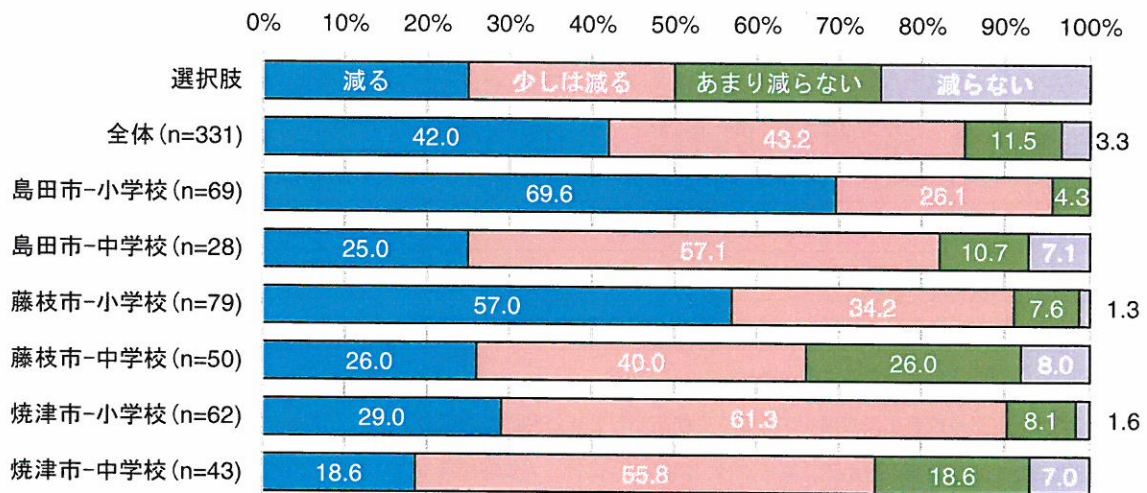
※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

※利用前の処理時間、利用後の処理時間の両方を回答したデータで算出。

## 2-3.今後の校務処理時間について

### (1)『デジタル校務』を利用することによる今後の校務処理時間

『デジタル校務』を利用することにより、今後の校務処理時間についてきいたところ、全体では「減る」+「少しは減る」が85.2%となっている。勤務地・学校種別でみると、島田市の小学校では95.7%が「減る」または「少しは減る」と回答しており、藤枝市の中学校では34.0%が「あまり減らない」又は「減らない」と回答している。



※「島田市-中学校」は回答者が30未満であるため注意が必要である。



## (2) 選択肢別自由回答

『デジタル校務』を利用する前と利用後の校務処理時間について「減る」、「少しは減る」、「あまり減らない」、「減らない」とそれぞれ回答した理由は次のとおりとなる。(原文抜粋)

選択肢別自由回答	
減る	行い方さえ覚えれば、要録や出席簿など手書きよりスムーズにいくと思います。要録の成績をいれるところは、担当が入られるようにしてほしいと思いました。
	成績だけでなく、出席についても一括して操作でき、出席簿が手書きでなくなったことは校務処理時間の軽減につながっています。
	要録の所見欄の手書きがなくなったから、通知表と要録がリンクしていて、処理しやすくなったから。
	指導要録、通知表、出席簿、調査書が連動することで二度手間になることがないから。
少しは減る	①パソコンそのものの処理速度が遅い。パソコンのスペックが上がれば効率よく仕事ができる。②プレビューがない。(WORD 連携でのプレビューはあるが、時間がかかる)③「元に戻る」ボタンがなく失敗したのかしていないのか確認するのに無駄な時間がかかる。④上記の①～③の3つは操作の慣れでは解決しない問題で、業務時間の短縮につながらない。
	・手書きより打ち込み入力の方が時間がかからないから。・間違えたときの処理が簡単だから。
	システムの操作にまだ不安があります。また校務支援の処理速度が遅く感じる事が多くあります。
	扱い方がわからない部分を聞きながら行っているの、慣れてくれば早く処理できると思う。
あまり減らない	所々に使いにくいところを感じています。そこが解決されない限り、時短にはならないように思います。
	目的の入力画面にいくまでの手間が多い。
	一人ずつデジタル校務上で処理をするときや修正するとき時間に大変掛かる。生徒 A の情報を打ち込んだ後、生徒 B を画面上に出すまでの処理時間が掛かる。直す点は、漢字 1 つに対して処理を待っている時間の方が長い。また、ワード連携、エクセル連携がうまくいかないときが度々あり、作業が進まないことがある。ワード連携後、出席番号 10 の生徒だけ印刷しようとしてもできないため、困った。その 1 枚を出すために 30 分以上掛けている教諭もいた。
	個人差があると思います。特に、パソコンが得意な人と苦手な人では、作業時間が大きく変わります。得意な人でも、データを記録するための完了ボタンの待機時間が長くなってしまい、出力時のエクセル連携などは、とても時間が掛かると思います。そのため、作業の手順が変わっても大きな作業時間の減少には結びつかないと考えます。また、理由記述欄の 1 文字目が英文字になってしまうのは、できるだけ早く修正して下さい。
減らない	デジタル校務で入力したものを、【ワード連携】または、【エクセル連携】をして、データ化するでは、これまでと何もかわらない。一度入力したデータは、関連する箇所全てに反映されることを、強く願う。例:調査書作成のために入力したデータは、要録作成に連動してほしい。
	システムの読み込み頻度が高く、データを打ち込んだり閲覧したりしている時間よりも、動作を待っている時間の方が長い。生徒の成績や、行動所見などのデータベースが一つになっていないため、データの訂正があった場合に通知表と調査書、指導要録の間にデータの矛盾が生じる恐れがある。そのため、同じチェックを何度もしなければいけないため、大変非効率的である。
	成績に関しては使いにくくデータがしっかり入ったか確かめなくてはならない。時数が多いと入らないなど不都合が多く使いにくい。
	前のほうがわかりやすい。

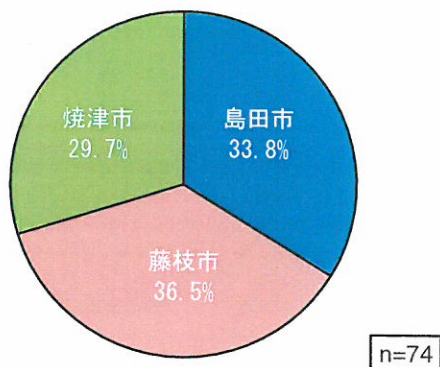
### **3.学校管理者の調査結果**



### 3-1.学校管理者の回答者属性

#### (1)勤務地

学校管理者の勤務地をみると、「島田市」が 33.8%となり、「藤枝市」が 36.5%、「焼津市」が 29.7%となっている。



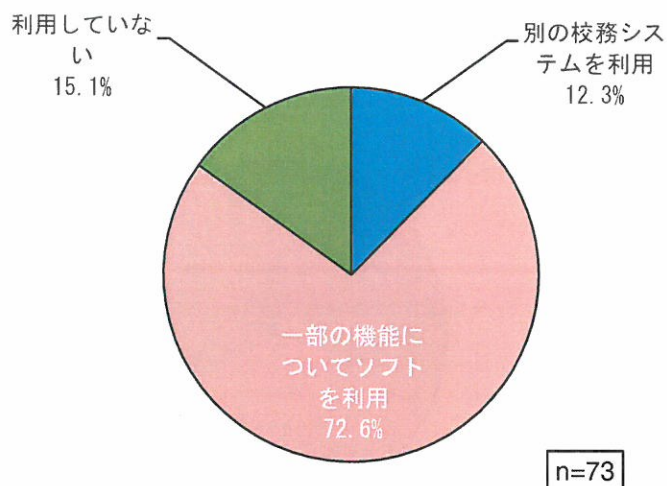
		合計	島田市	藤枝市	焼津市
全体	n	74	25	27	22
	%	100.0	33.8	36.5	29.7
別の校務システムを利用	n	9	2	4	3
	%	100.0	22.2	44.4	33.3
一部の機能についてソフトを利用	n	53	19	16	18
	%	100.0	35.8	30.2	34.0
利用していない	n	11	4	6	1
	%	100.0	36.4	54.5	9.1

※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。



## (2) 26 年度以前のシステム等利用状況

学校管理者に 26 年度以前の、校務システムや類似ソフト等の利用の有無をきいたところ、「一部の機能についてソフトを利用」が 72.6%と最も割合が高い。「利用していない」は 2 割以下となっている。



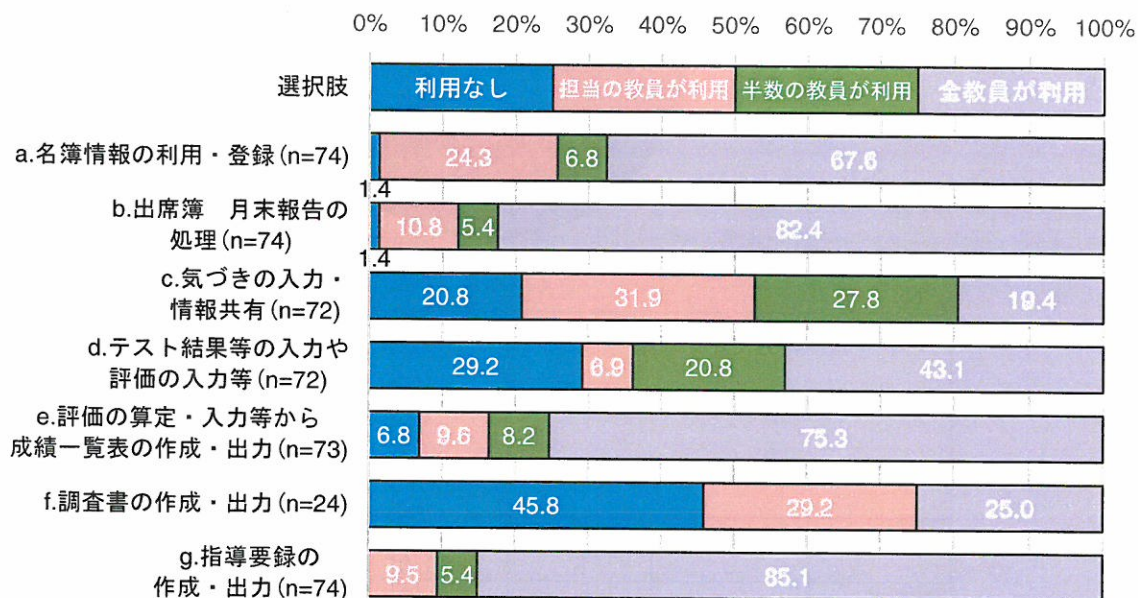
		合計	別の校務システムを利用	一部の機能についてソフトを利用	利用していない
			n	%	n
全体	n	73	9	53	11
	%	100.0	12.3	72.6	15.1
島田市	n	25	2	19	4
	%	100.0	8.0	76.0	16.0
藤枝市	n	26	4	16	6
	%	100.0	15.4	61.5	23.1
焼津市	n	22	3	18	1
	%	100.0	13.6	81.8	4.5

※回答者が 30 未満のデータは注意が必要である。

### 3-2. 『デジタル校務』 利用状況

#### (1) 校務内容別利用状況

『デジタル校務』の校務内容別利用状況についての結果をみると、b. 出席簿 月末報告の処理、e. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力、g. 指導要録の作成・出力で「全教員が利用」が7割を超えている。一方、f. 調査書の作成・出力では「利用なし」が4割以上となっており、他の校務内容に比べ高くなっている。

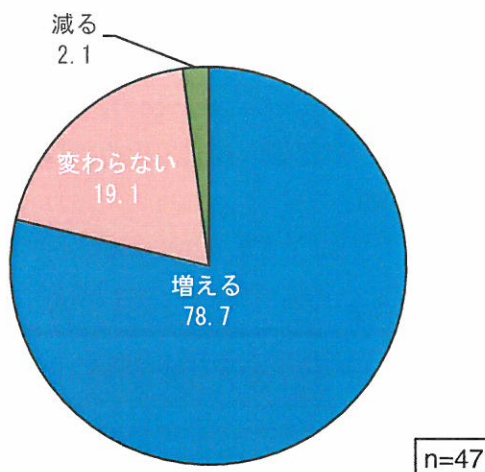


		合計	利用なし	担当の教員が	半数の教員が	全教員が利用
a. 名簿情報の利用・登録	n	74	1	18	5	50
	%	100.0	1.4	24.3	6.8	67.6
b. 出席簿 月末報告の処理	n	74	1	8	4	61
	%	100.0	1.4	10.8	5.4	82.4
c. 気づきの入力・情報共有	n	72	15	23	20	14
	%	100.0	20.8	31.9	27.8	19.4
d. テスト結果等の入力や評価の入力等	n	72	21	5	15	31
	%	100.0	29.2	6.9	20.8	43.1
e. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力	n	73	5	7	6	55
	%	100.0	6.8	9.6	8.2	75.3
f. 調査書の作成・出力 (中学校のみ回答)	n	24	11	7	0	6
	%	100.0	45.8	29.2	0.0	25.0
g. 指導要録の作成・出力	n	74	0	7	4	63
	%	100.0	0.0	9.5	5.4	85.1

※回答者が30未満のデータは注意が必要である。

## (2) 『デジタル校務』の今後の利用について

『デジタル校務』を利用している教員が勤務している学校に対し、今後、同システムを利用する教員が増えるかについてきいたところ、「増える」が78.7%と8割近くとなっている。



		合計	増える	変わらない	減る
全体	n	47	37	9	1
	%	100.0	78.7	19.1	2.1
島田市	n	13	10	2	1
	%	100.0	76.9	15.4	7.7
藤枝市	n	20	15	5	0
	%	100.0	75.0	25.0	0.0
焼津市	n	14	12	2	0
	%	100.0	85.7	14.3	0.0

※回答者が30未満のデータは注意が必要である。

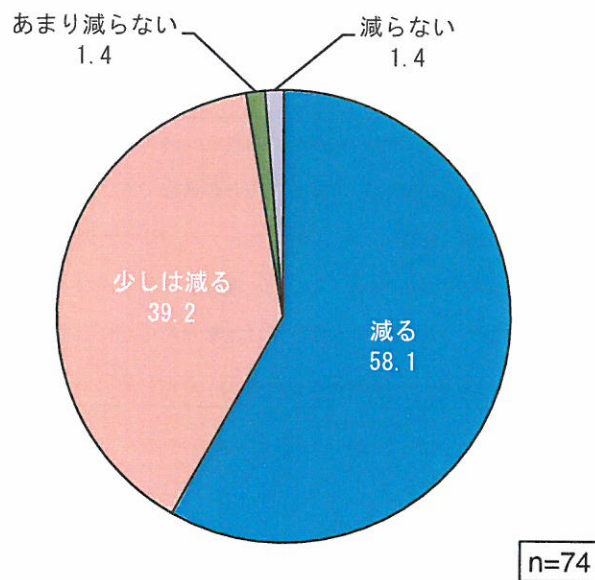
選択肢別自由回答	
増える	今年が実質の運用開始年度となったため、機能や操作方法の全貌が理解できず、苦労した場面も多かった。また少しずつ使用できる機能が追加されてきたということもあり、使い勝手が悪かった。来年度、1年間の活用方法が理解できたことで、その利便性が改めて注目され、利用する教員が増えると考えられる。
	使い方に慣れることで、使える人が増え、使い方のノウハウが広まると考えるから。
変わらない	これまで使用していた「ソフト」と同等以上の使い勝手にならないと、難しい。【これまで使用していた「ソフト」の例】※テスト結果→「のびるんじゃー」※成績処理→「super ジムリン」…ともにエクセル
	今まで利用していたものの利便性が加われば利用していくと思います。「システム上できない」というものが多すぎます。
減る	(自由回答なし)



### 3-2.今後の校務処理時間について

#### (1) 『デジタル校務』を利用することによる今後の校務処理時間

『デジタル校務』を利用することによる今後の校務処理時間についてきいたところ、「減る」が58.1%と最も高く、「少しは減る」と合わせると97.3%となっている。



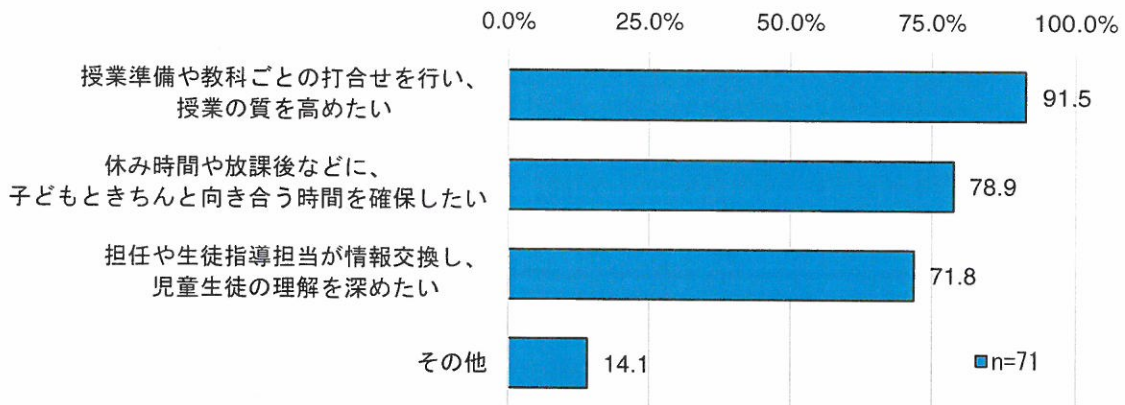
		合計	減る	少しは減る	あまり減らない	減らない
全体	n	74	43	29	1	1
	%	100.0	58.1	39.2	1.4	1.4
島田市	n	25	16	8	0	1
	%	100.0	64.0	32.0	0.0	4.0
藤枝市	n	27	18	9	0	0
	%	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
焼津市	n	22	9	12	1	0
	%	100.0	40.9	54.5	4.5	0.0

※回答者が30未満のデータは注意が必要である。

選択肢別自由回答	
減る	・手書きで記載していたものは、確実にデジタル校務の方が早い。・1つのものが他の帳票に連動するので早い。
	明らかに楽だと感じたのは、調査書、要録、抄本です。中学校の進路関係はかなり、楽になると思います。
	名簿等システムとして入っているため、運用しやすい。今年度、利用して次年度以降の対応を学んだため。
少しは減る	・使うことで操作に慣れる。たまにしか開かないと忘れてしまう。・エクセル連携やワード連携に切り替えたり、プレビューを見るたびに待ち時間が長く、イライラを感じる。(待ち時間で校務処理時間が長くなっているが、実際以上に長く感じる。)
	・入力や確認作業の慣れにより、処理時間は減ってくると感じる。しかし、普段使用するエクセルやワード、ジムリン等のソフトに比べて待ち時間が比較的に長いので、その点を解消できれば大変時間は減り、残業時間も減るように感じる。
	慣れてくれば、担任は、処理時間が短くなると思う。一方で、年度初めの設定等、担当の負担は大きいままだと思う。
減らない あまり	・ベテランの教員が多く、操作も複雑であるため、なかなか慣れない。本年度はICT支援員が何回も来校し、教えてくれたのでよかったが、来年度はヘルプデスク以外で問題を解決し処理をしなければならないため。
減らない	学校現場の仕事を、あまり理解していない方がつくられたシステムである上に、サポート体制が十分ではありません。特に、システムをつくった内田洋行さんの姿勢は不可解で、先日の研修でも、たった1枚の用紙で型どおりの説明をするのみでした。分厚いマニュアルでなく、最も使う機能についてのマニュアルづくりも要請しましたが、「できません」の1点ばかりで、もうやることはやってありますという姿勢に憤りを感じました。慣れれば何とかかなるというだけのものではないことは、使用している教員は気付いています。コンピュータの操作の知識に長けた教員を中心に、検討委員会を設置するなどの措置をしないと、場合によっては、書類に大きなミスが生まれる可能性があります。このシステムへの失望感はかなり大きいと思います。

## (2) 『デジタル校務』を利用することにより生まれた時間に充てたいもの

『デジタル校務』を利用することで余裕が出た時間に充てたいものをきいたところ、「授業準備や教科ごとの打合せを行い、授業の質を高めたい」が91.5%と最も高く、他の2項目についても7割を超えており割合が高くなっている。



	合計	授業準備や教科ごとの打合せを行い、授業の質を高めたい	休み時間や放課後などに、子どもときちんと向き合う時間を確保したい	情報交換し、児童生徒の理解を深めたい	担任や生徒指導担当が	その他
全体	n: 71 %: 100.0	n: 65 %: 91.5	n: 56 %: 78.9	n: 51 %: 71.8	n: 10 %: 14.1	
島田市	n: 24 %: 100.0	n: 21 %: 87.5	n: 18 %: 75.0	n: 17 %: 70.8	n: 4 %: 16.7	
藤枝市	n: 26 %: 100.0	n: 25 %: 96.2	n: 23 %: 88.5	n: 19 %: 73.1	n: 3 %: 11.5	
焼津市	n: 21 %: 100.0	n: 19 %: 90.5	n: 15 %: 71.4	n: 15 %: 71.4	n: 3 %: 14.3	

※回答者が30未満のデータは注意が必要である。

「その他」の具体的内容
勤務時間外の業務を減らし、教員に心の余裕を増やす。(心身のリフレッシュを行う)
勤務時間外の仕事が減るだけで、1～3までの時間はまだ確保できない。
教職員のゆとりの時間も必要→効率をあげ、時間に余裕が出たら、そこに何か入れようとするのは、また多忙化を生む。(はっきりと、ゆとりの時間を作るべき) ※事務処理日とか、空いている日等。
自分の家庭や地域の活動に参加する。

学校管理者向け

## 『デジタル校務』利用状況アンケート

- 平成28年3月18日（金）までに、各教育委員会指定の方法で提出してください。
- 回答はすべて回答欄にご記入ください。

### 回答者について

			回答欄
(1)勤務地	1. 島田市      2. 藤枝市      3. 焼津市		
(2)学校名	※学校名を記入ください。		
(3)26年度以前のシステム等利用状況 ※校内で処理を統一していたことについてご回答ください。 ※教員の出勤管理や、事務・養教が利用のものは除く。	1.別の校務支援システムを利用 ※校務支援システムとは、『デジタル校務』のように、名簿の登録から成績処理までが一体となったシステムを言う。 ----- 2.一部の機能についてソフトを利用 ※ソフトとは、「竹千代」「ちょうさん」「菊姫」「ジムリン」や焼津市独自の成績ソフトのように、特定の処理のみを行う機能を言う。 ----- 3.利用していない（各教員が利用しやすいソフト等を利用）		

### 1. 貴校教員の、校務支援システム「デジタル校務」利用状況を教えてください。

(1) デジタル校務の利用状況についてそれぞれ当てはまるものを選んで選択肢番号を回答欄に記入してください。

	利用なし	担当の教員が利用	半数の教員が利用	全教員が利用	回答欄
a. 名簿情報の利用・登録	1	2	3	4	
b. 出席簿 月末報告の処理	1	2	3	4	
c. 気づきの入力・情報共有	1	2	3	4	
d. テスト結果等の入力や評価の入力等	1	2	3	4	
e. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力	1	2	3	4	
f. 調査書の作成・出力 <u>※中学校のみ回答ください</u>	1	2	3	4	
g. 指導要録の作成・出力	1	2	3	4	

(2) 〈一部の教員が利用されている学校の方へ〉 今後、校務システムを利用する教員は増えると思いますか。当てはまる選択肢の番号を回答欄に記入してください。

1. 増える

2. 変わらない

3. 減る

回答欄

(3) 上記(2)を選んだ理由、また校務システムの利用を進めるためのアイデアがあれば教えてください。

<回答欄>

## 2. 今後の校務処理時間について

(1) 今後、利用者がシステムの操作に慣れてくれば、26年度までに比べて校務（設問1に記載した項目に限る）を処理する時間は減ると思いますか。当てはまる選択肢の番号を回答欄に記入してください。

- 1.減る      2.少しは減る      3.あまり減らない      4.減らない

回答欄

(2) 上記(1)を選んだ理由を教えてください。

<回答欄>

(3) <(1)で「1.減る」「2.少しは減る」と回答した学校の方へ>

志太地域校務支援事務共同化協議会では、システムの利用により教員の校務にかかる処理時間を減らし、その時間を有効に利用していただくことを目的としています。みなさんの学校では、システムの利用によりこれまで校務事務に充てていた時間に余裕が出たら、どのようなことにこれまでより時間をかけたいですか？ 当てはまる選択肢の番号を回答欄に記入してください。（複数回答可）

1. 休み時間や放課後などに、子どもときちんと向き合う時間を確保したい  
2. 授業準備や教科ごとの打合せを行い、授業の質を高めたい  
3. 担任や生徒指導担当が情報交換し、児童生徒の理解を深めたい  
4. その他

回答欄

「4.その他」と回答した学校は、想定した業務等をお書きください。

<回答欄>

以上でアンケートは終わりです。ご協力、本当にありがとうございました。



システム利用者向け

## 『デジタル校務』利用者アンケート

- 平成28年3月18日（金）までに、各教育委員会指定の方法で提出してください。
- 回答はすべて回答欄にご記入ください。

### 回答者について

				回答欄
(1)勤務地	1. 島田市	2. 藤枝市	3. 焼津市	
(2)学校種	1. 小学校	2. 中学校		
(3)性別	1. 男性	2. 女性		
(4)年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代
(5)担任	1. 学年主任	2. クラス担任	3. 級外	
(6)パソコン	1. 得意	2. わりと得意	3. あまり得意でない	4. 不得意

### 1. 『デジタル校務』の満足度について教えてください。

(1) 『デジタル校務』の満足度についてそれぞれ当てはまる選択肢番号を回答欄に記入してください。

	利用なし	満足	やや満足	やや不満	不満	回答欄
a. 出席簿 月末報告の処理	1	2	3	4	5	
b. 気づきの入力・情報共有	1	2	3	4	5	
c. テスト結果等の入力や評価の入力等	1	2	3	4	5	
d. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力	1	2	3	4	5	
e. 成績通知表の作成・出力	1	2	3	4	5	
f. 指導要録の作成・出力	1	2	3	4	5	
システム全体を総合的にみて	1	2	3	4	5	

(2) 『デジタル校務』の処理時間について、システムを利用前の処理時間と、利用後の処理時間（合計）をそれぞれ回答欄に記入してください。

	回答欄		
	利用以前の処理時間	利用後の処理時間	児童生徒の対象人数 (名)
a. 出席簿 月末報告の処理	分	分	名
b. 気づきの入力・情報共有	分	分	名
c. テスト結果等の入力や評価の入力等	分	分	名
d. 評価の算定・入力等から成績一覧表の作成・出力	分	分	名

回答欄			
	利用以前の処理時間	利用後の処理時間	児童生徒の対象人数 (名)
e. 成績通知表の作成・出力	分	分	名
f. 指導要録の作成・出力	分	分	名

(3) 〈中学校の方のみご回答ください〉 調査書の作成について、それぞれ回答欄に記入してください。

①今年度、調査書の研修を受講しましたか？

1. した                      2. しない

回答欄

②今年度、調査書を作成しましたか？

1. した                      2. しない

回答欄

③ ②で「1. した」と回答した方にお聞きします。調査書の作成方法を教えてください。

1. 『デジタル校務』を利用      2. その他のシステムを利用      3. その他

回答欄

④ ③で「1. 『デジタル校務』を利用」と回答した方にお聞きします。

満足度と処理時間について教えてください。

◆満足度	利用 なし	満足	やや 満足	やや 不満	不満	回答欄
調査書の作成・出力	1	2	3	4	5	

◆処理時間	回答欄		
	利用以前の処理時間	利用後の処理時間	生徒の対象人数 (名)
調査書の作成・出力	分	分	名

## 2. 今後の校務処理時間について

(1) 今後、システムの操作に慣れてくれば、26年度までに比べて校務（設問1に記載した項目に限る）を処理する時間は減ると思いますか。当てはまる選択肢の番号を回答欄に記入してください。

1. 減る                      2. 少しは減る                      3. あまり減らない                      4. 減らない

回答欄

(2) 上記(1)を選んだ理由を教えてください。

<回答欄>

以上でアンケートは終わりです。ご協力、本当にありがとうございました。